

發 刊 ノ 辭

會 長 佐 藤 應 次 郎 *

土と水に關する施設の一切を計畫し
實施するを以て土木技術者の使命と
す。

施設と文化の魁にして文化の基な
り、一國文化の水準も民族發展の如
何も土木技術の高低に依つて左右せ
らる、謂ふ所の新體制即高度國防國
家體制の大陸滿洲に於ける要請たる
國土開發重要諸建設は總て土木技術
者の手に依らざるへからず。

現時局下に於ける大陸に職を奉す
る土木技術者の使命は正に重大なり。

然れとも土木技術の分野は廣汎多
岐その應用する學理は深奥無限なり、

一分野と雖も之に精通し之を習得す
るは絶へざる研究努力を必要とす況
んや之か進歩を圖り發達を期するか
爲には相携へて知を古今に求め識を
東西に尋ね有益なる資料は之を私藏
せずして同學の參考に供し共に研鑽
せざるへからず。

土木滿洲發刊の趣意こゝに在りと
信す、本誌内容の充實完備の如何は
懸つて諸彦の雙肩に在り、こひねか
わくは諸彦の指導援助の下に本誌を
して滿洲土木技術育成の糧となし延
いては大陸土木技術の指表たらしめ
んことを。